

令和4年度

教育委員会点検・評価報告書

令和5年9月

川越町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられています。

また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、川越町教育委員会の会議及び活動状況の一覧を示すとともに、同法に基づき川越町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々の意見を付して取りまとめたものです。

今後も点検・評価の結果を事務改善に役立てながら、よりよい教育の実現を目指してまいりたいと考えますので、皆様の一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

I	教育委員会の会議及び活動状況	
1	会議状況一覧	1
2	活動状況一覧	2
II	点検・評価の概要	
1	点検・評価の方法	4
2	自己評価の基準	4
3	学識経験者の知見の活用	4
III	令和4年度の点検と評価	
1	学校教育	5
2	社会教育	12
IV	学識経験者の知見の活用	
1	説明及び面談の実施	17
2	意見の要旨	17

I 教育委員会の会議及び活動状況

1 会議状況一覧

月日	場所	会議名	議案、報告等
4月13日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	・学校教育ビジョンに基づいた学校運営について ・各校の近況報告
		教育委員会	○議案 第5号 川越町就学支援委員及び専門員の委嘱について 第6号 川越町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 第7号 令和3年度奨学金の貸与及び付与について 第8号 専決処分について
5月11日	川越南小学校	教育委員会・校長会の合同会議	・本年度の研修について ・各校の近況報告
		教育委員会	○議案 第9号 令和4年度学校評議員の委嘱について 第10号 令和4年度学校関係者評価会議委員の委嘱について 第11号 社会教育委員の委嘱について ○報告 ・区域外就学及び就学校の変更基準の改正について
6月15日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	・各校の近況報告
		教育委員会	○議案 第12号 就学等に関する規則の一部改正について ○協議 ・令和3年度 教育委員会の点検と評価について ・教育委員研修について ○報告 ・令和4年度川越町奨学金の受給者と返還者について
7月13日	川越町 あいあいセンター	教育委員会・校長会の合同会議	・各校の近況報告
		教育委員会	○協議 ・令和3年度 教育委員会の点検と評価について
8月17日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	・各校園 1学期のまとめと2学期の取組について
		教育委員会	○報告 ・教育委員の人事案件について
9月14日	川越中学校	教育委員会・校長会の合同会議	・全国学力・学習状況調査の分析について ・各校の近況報告
		教育委員会	○報告

			<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の分析について ・川越中学校建設工事設計業務委託の進捗状況について
10月19日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の任命についての報告 ・各校の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 ・教育委員会教育長職務代理者の指名について ・地域における子育て支援（社会教育委員会）について
11月8日	川越北小学校	教育委員会・校長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 ・川越町いじめ問題対策連絡協議会について
12月15日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の2学期のまとめと3学期の取組について ・各校の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 ・川越町・聖籠町 小学校交流の報告について ・川越中学校建設工事設計業務委託の進捗状況について
1月17日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 ・子ども議会について ・あいあいホールの大改修について
2月8日	川越町役場	教育委員会・校園長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校園の今年度の反省と来年度に向けて ・各校・園の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○議案 第1号 川越町社会教育委員の委嘱について ○協議 ・各校・園「学校自己評価」の結果と考察について ○報告 ・地域における子育て支援（社会教育委員会）について
2月22日	川越町役場	教育委員会（臨時）	<ul style="list-style-type: none"> ○議案 第2号 令和5年度教職員の人事異動について
3月8日	川越町役場	教育委員会・校長会の合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の3学期の取組と今年度の考察について ・各校の近況報告
		教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○議案 第3号 川越町スポーツ推進委員の委嘱について ○報告 ・令和5年度当初予算（教育委員会関連）について

2 活動状況一覧

月日	場所	内容
4月6日	川越南北小・川越中学校	入学式
4月7日	川越幼稚園	入園式

4月13日	川越南小学校	授業参観
4月28日	オンライン会議	第1回 市町等教育長会議 「服務規律の確保について」「学校における働き方改革の推進について」「学校防災の取組について」「地方公務員法の一部改正に伴う定年引上げについて」「学力の向上について」 等
5月27日	三重県四日市庁舎	令和4年度 北勢地域教育長会（春） 各課所管事項説明
7月6日	三重県総合教育センター	第2回 市町等教育長会議 「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」「学力の向上について」「いじめ重大事態の対処について」「不登校児童生徒への支援について」 等
7月13日	あいあいセンター	図書室視察
9月14日	川越中学校	授業参観
10月20日	三重県四日市庁舎	第3回 市町等教育長会議【北勢地域】 「今後の部活動について」「学力の向上について」 等
10月22日	川越南北小学校	運動会
10月28日	三重県男女共同参画センター 「フレンテみえ」	令和4年度「三重の教育談義」 講演会「今、求められる人材の育成と組織づくり」 JAXA 宇宙科学研究所教授 津田雄一氏
11月8日	川越北小学校	授業参観
1月17日	あいあいホール	大改修後視察
2月17日	三重県総合教育センター	第4回 市町等教育長会議 「令和5年度当初予算（案）の概要について」「公立小中学校の教職員配置と外部人材の活用について」「コンプライアンスの推進について」「役職定年に伴う特例任用の検討状況について」 等
3月7日	川越中学校	卒業式
3月20日	川越南北小学校	卒業式
3月22日	川越幼稚園	卒園式

Ⅱ 点検・評価の概要

1 点検・評価の方法

川越町教育基本方針の各目標達成のための主な取組内容を示し、これに対する成果指標及び実績に基づく自己評価を行います。

さらに、この自己評価を行うに当たっての現状と課題を明らかにし、今後の事務改善を図ります。

2 自己評価の基準

評 価		目 安
A	十分達成している	81～100%
B	ほぼ達成している	61～80%
C	十分達成できていない	41～60%
D	達成できていない	40%以下

3 学識経験者の知見の活用

教育委員会の点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の方々から教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について様々なご意見をいただきました。

今後の事務改善に活かしていきます。ありがとうございました。

<学識経験者>

川越高等学校 校長 山本 順三 さん

川越中学校 元PTA会長 北原 健太郎 さん

Ⅲ 令和4年度の点検と評価

1 学校教育

基本方針 豊かな心を土台とした社会で生きていく力の育成

幼稚園（幼児）教育		
<p>目標1 環境を通して行う総合的な保育の実施</p> <p>目標2 一人ひとりの幼児の特性に応じた保育の実施</p> <p>適切な環境を設定し、自発的な活動としての「遊び」を重ねる中で、幼児一人ひとりの特性に応じた保育を行うことで、個々の幼児の資質・能力を育みます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子交流、幼保・幼小交流等、人間関係を育む活動の実施 ○ 特別支援講師、生活支援員の配置 ○ 子ども家庭課、西日野にじ学園等と連携した発達支援の推進 ○ CLM の活用推進 ○ 外国語活動の充実のための ALT の配置 ○ 安全・安心な給食の提供と食育の実施 		
成果指標	実績	評価
「喜んで園に通っている」の肯定回答が90%以上	94% (91)	A (C)
「生活や活動の決まりや基本的な生活習慣が身についてきている」の肯定回答が90%以上	96% (89)	
現状と課題		
<p>昨年度（令和3年度）に比べると、肯定回答が増加している。特に、「生活や活動の決まりや基本的な生活習慣が身についてきている」が、7ポイント増加した。新型コロナウイルス感染状況が、落ち着きを見せる中で、子どもたちの行動や基本的な生活習慣にも良い影響を与え、特に安心して関わり、できることが増えることで、落ち着いた園生活を送ることができるようになってきた。</p> <p>特別な支援が必要な子どもたちに対しては、特別支援教育スーパーバイザー、西日野にじ学園、子ども家庭課等と園が連携し、個々の特性に応じた適切な支援を行ってきた。今後も、支援技術のさらなる向上を図るため、継続して研修等を行っていく必要がある。</p>		

幼稚園（幼児）教育		
<p>目標3 安全・安心な園づくりと保育力の向上の推進</p> <p>目標4 家庭生活との連続性を踏まえた保育の実施</p> <p>安全・安心な園づくりや園経営の充実、教職員自身の資質・能力の向上などに努めながら、幼児だけでなく保護者にも寄り添い、共に幼児期の教育に取り組んでいきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察や関係機関と連携した防災・防犯教室の実施の促進 ○ 園施設（危険箇所の修繕など）の改善 ○ 保育力の充実を図る園内研修の実施と就学前教育アドバイザーの配置 ○ 教育研究員制度を活用した教職員自主研修の推進・支援 ○ 中学校区教育懇談会による課題別の保幼小中連携協議 ○ 地域の教育力（地域教材・地域人材）の積極的活用の支援 ○ 広報紙、HP 掲載、メール発信等の機会を利用した園情報等の発信・周知 ○ 家庭・地域の教育力向上を図る PTA、地域団体等への出前講座などの実施 ○ 「生活習慣チェックシート」による規則正しい生活の定着促進 		
成果指標	実績	評価
「健康や心配事などについて気軽に相談できている」の肯定回答が 90%以上	97% (92)	A (A)
「保育参観や行事等で開かれた園づくりに努めている」の肯定回答が 90%以上	100% (92)	
「行事や園便り、HP などを通して、保護者へ園の情報が発信されている」の肯定回答が 80%以上	100% (92)	
現状と課題		
<p>すべての指標において、100%、もしくはそれに近い肯定回答であった。就学前教育アドバイザーの指導を継続的・定期的に受けてきたことや、園内研修の充実が教員の資質を向上し、保護者の安心感に繋がっていると思われる。</p> <p>これまで、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、保育参観や行事等を実施できなくなっていたが、感染防止に配慮しながらできる方法を検討し、実施してきたことが高い肯定回答に繋がっていると思われる。また保護者の方には、とてもあたたかく園活動を見守っていただいている。</p> <p>今後も、よりよい方法を探りながら行事等を実施し、園便りやホームページ等も使って、積極的に子どもたちや園の様子を発信していく必要がある。また保護者が相談しやすい環境づくりを、今後も継続していく。同時に、今後も園全体で協力をしながら、一部の教職員に負担がかからないように配慮を続けていきたい。</p>		

小 中 学 校 教 育		
目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成		
目標 1 – (1) 確かな学力と社会参画力の育成 学力の向上・定着・活用を推進していく中で、特別支援教育、グローバル教育及びキャリア教育をともに充実させていくことにより、確かな学力と社会参画に必要な力の育成を図っていきます。		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業力向上研修（授業公開）の実施 ○ 個に対応したきめ細かな授業のための基礎学力充実加配教員の配置 ○ CRT（学力到達度検査）の実施と分析、児童生徒へのフィードバック ○ 適切な指導・支援のための特別支援教育アドバイザーの配置 ○ 学習支援員、生活支援員、日本語指導員の配置 ○ 外国語教育の充実のための ALT の配置 ○ ICT 機器の充実及び積極的活用のための ICT 支援員の配置 		
成果指標	実績	評価
CRT の評定出現率が小学校（3段階）→ 2 以上、中学校（5段階）→ 3 以上が 80%以上	82% (87)	D (B)
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定回答が 80%以上	78% (79)	
「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」について、肯定回答が 80%以上	79% (83)	
現 状 と 課 題		
<p>CRT の評定出現率の実績が、昨年度より若干下がってはいるが、成果指標を上回り、学力の底上げが継続して図られている。今後も学校は、授業におけるねらいやつけたい力を明らかにして、少人数指導や習熟度別指導等に積極的に取り組み、より高い知識・技能の定着をめざしていきたいと考える。</p> <p>新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきた中ではあるが、子どもたちがマスクの下の表情を伺いながら、話し合う活動を取り入れることが難しい状況であった。新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」については、タブレット等 ICT 機器を活用しながら、子どもたちが主体的に取り組む授業づくりを行うことができるようになってきた。向かい合って話し合う活動が難しい状況でも、タブレット端末や電子黒板を活用することで、子どもたち同士の意見交換等が可能となってきた。今後も、ICT 機器を効果的に活用した授業の研修・研究を継続して進め、さらなる授業改善に努めたい。</p> <p>通級指導教室が開設されて 6 年目となり、通級指導教室で学ぶことの効果や指導方法について、かなり整理がされてきた。今後は、通級指導教室の増設や、自校通級の方法についても検討していきたい。</p>		

小 中 学 校 教 育

目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成

目標 1 - (2) 豊かな情操といじめや差別を許さない力の育成

教育活動全般を通じて、人権教育及び道徳教育を推進するとともに、文化芸術に係る体験や表現活動、読書活動を充実させていくことにより、豊かな情操といじめや差別を許さない力の育成を図っていきます。

主 な 取 組 内 容

- 人権教育カリキュラムの点検とカリキュラムに基づいた人権教育の推進
- 道徳の授業の公開と公開時における指導主事による指導・助言
- 学級満足度（Q-U）調査の実施と分析を基にした児童生徒への対応
- 法教育推進事業の実施
- 自然教室の実施
- 学校図書館司書の配置と学校図書館図書標準（冊数）の維持
- 読書旅行事業の実施
- 特色ある教育活動・研究指定及び研究発表補助事業の実施

成果指標	実績	評価
「自分にはよいところがある」について肯定回答が 80%以上	83% (75)	A (D)
「人が困っているときは、進んで助けている」について肯定回答が 80%以上	92% (93)	
「読書は好きですか」について、肯定回答が 70%以上	71% (-)	

現 状 と 課 題

「自分にはよいところがある」についての肯定回答は、R 3 年度に比べ、8 ポイント増加している。

各小中学校において、児童生徒の一人ひとりの思いを大切にしながら取組を行ってきたことで、「自分には良いところがある」が増加していることにつながったのではないかと考える。しかし、17%の児童生徒が、自分を肯定的に見ることができていないこともあり、より一層丁寧に関わっていく必要がある。

読書活動については、今後も継続して学校図書館司書や各校の図書委員会、社会教育とも連携を図りながら、効果的な取組を探っていく。読書旅行に関しては、効果的な啓発方法をさらに検討しながら、一人1台タブレット端末を使った読書履歴の活用などについて、新たに取り組んでいく。家庭読書「家読」については、社会教育と連携を図りながら、子どもたち及び保護者に向けて継続的に発信していく。

小 中 学 校 教 育		
目標 1 未来を切り拓く資質・能力の育成		
<p>目標 1 - (3) 基礎となる健康・体力と危機回避能力の育成</p> <p>運動習慣の確立や健康教育、食育を通じて体力・運動能力を向上させるとともに、防災・安全教育を充実させることにより危機管理能力の育成を図っていきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動ガイドラインに基づく安全で健康に留意した部活動の推進 ○ 部活動等、大会行事の参加に必要な経費の助成 ○ 養護教員部会と連携した、学校保健に関する学習会等の実施 ○ 安全・安心な給食の提供と食に関する授業の実施 ○ 「学校園における防災計画」に基づいた防災教育、防災訓練の実施 ○ 警察や関係機関と連携した「命を大切にする教室」の実施の促進 ○ 登下校におけるスクールサポート等の実施 ○ 校区安全マップの作成及び配付 ○ 町環境交通課と連携した取組 		
成果指標	実績	評価
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2）」における総合判定C以上の割合が、70%以上	70% (74)	B (B)
「運動やスポーツをすることが好きですか」について、肯定回答の割合が、70%以上	85% (86)	
「学校の帰り道で地震が起きたときの避難の仕方を知っている」について、肯定回答が100%	79% (80)	
現 状 と 課 題		
<p>令和4年度は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が実施され、質問項目にある「運動やスポーツをすることが好きですか」について、「好き」または「やや好き」と回答した割合が昨年度よりも1ポイント下がったものの、成果指標を上回った。今後も体育科における児童生徒に対しての「つけたい力」を明らかにし、授業を創造していく必要がある。その授業が、児童生徒にとって「体を動かすことが楽しい」と感じたいので、自分の体の動きの変化や体力の向上に気づいていけるようにしていきたい。</p> <p>「学校の帰り道で地震が起きたときの避難の仕方を知っている」について、肯定回答が昨年度と比較して1ポイント下がっており、防災教育の重要性を感じる。引き続き、学校の防災教育と町の防災担当部署との連携を図りながら、子どもたち及び保護者等の防災意識の向上につながるような取組を進めていきたい。</p>		

小 中 学 校 教 育

目標 2 学校教育力の向上と教育環境の整備

学校マネジメント及びカリキュラムマネジメントを進めていく中で、教職員一人ひとりの資質・指導力の向上、異校種連携及び安全・安心な学校づくりを推進します。

一方で、教職員の多忙化解消に向け総勤務時間縮減の取り組みを促進していくことにより、子どもと向き合う時間のさらなる確保を図っていきます。

主 な 取 組 内 容

- カリキュラムマネジメントによる教育活動の質の向上
- 教育研究員制度を活用した教職員自主研修の推進
- 主体的・対話的で深い学びを充実させる、学力向上アドバイザーの配置
- 中学校区教育懇談会（保幼小中連携）による授業公開と課題別の連携協議
- 不登校支援員の配置
- いじめに関する実態調査の実施（学期に1回以上）
- 子どもと向き合う時間を確保するための教職員の業務改善支援
- 学校施設（危険箇所の修繕など）の改善

成果指標	実績	評価
「先生は、ていねいな教え方やアドバイスをしてくれますか」「授業はていねいでわかりやすい」について、肯定回答が90%以上	95% (96)	B (D)
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定回答が90%以上	67% (85)	
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定回答が90%以上	92% (-)	
月80h以上の時間外労働職員の減少（最終0人）	67人 3人減	

現 状 と 課 題

コロナ禍のため、町教育委員会主催の教職員研修会は、オンライン形式で実施した。

学力向上アドバイザーや特別支援教育スーパーバイザー、北勢教育支援事務所及び町教育委員会の指導主事の指導・助言等を継続してきたことにより、教職員の資質向上が図られてきていると考える。しかし、「困りごとや不安がある時に先生に相談できますか」の肯定回答が下がっている。児童生徒からは、教師が相談しにくい状態にあるように見えることも、下がっている理由の一つとして考えられる。教師が高いアンテナを張り、児童生徒の状態を把握して、適切なタイミングで教育相談を行うことが重要である。今後も、児童生徒に信頼され、相談しやすい関係づくりを目指して、引き続き取組を進めていく。R4年度の教職員の超過勤務については、R3年度より3人減少となった。校長会等で繰り返し伝えてはいるが、なかなか減少していかない学校もある。職員の健康維持を考えると、改善は急務である。今後も繰り返し校長会等で伝え、状況を注視し、指導・助言を継続していく。

小 中 学 校 教 育

目標 3 家庭・地域とともにある学校づくりの推進

家庭との連携はもとより地域に開かれた教育課程を推進していく中で、地域の方々の知識・経験・技能を活用した学習や体験活動を積極的に取り入れることなどにより、地域とのつながりを深め、地域ぐるみの子育てにつなげていきます。

主 な 取 組 内 容

- 地域の教育力（地域教材・地域人材）の積極的活用の支援
- 保護者・地域への防災・防犯等、安全意識向上の啓発
- 広報紙、HP 掲載、メール発信、イベント等の機会を利用した教育情報等の発信・周知
- 家庭・地域の教育力向上を図る PTA、地域団体等への出前講座などの実施
- 子ども家庭課と連携した保護者相談及び家庭支援
- 川越町ファミリー読書週間の取組の実施

成果指標	実績	評価
「学校公開や各種通信、HP などを通じて学校の情報が発信されている」について、肯定回答が 80%以上	93% (92)	A (A)
「学校の様子を保護者に話している。また、配布物はきちんと見せている」について、肯定回答が 70%以上	78% (79)	
「進んであいさつができる」「進んであいさつができ、ていねいな言葉づかいができる」について、肯定回答が 80%以上	84% (86)	

現 状 と 課 題

コロナ禍の中での学校公開や授業参観ではあったが、「学校公開や各種通信、HP などを通じて学校の情報が発信されている」の肯定回答が、昨年度と比べて 1 ポイントであるが上昇している。各学校からの各種通信やホームページでの情報発信の仕方を、工夫しながら実施している結果が出たと考えられる。

以前から重点的に取組を進めてきている「進んであいさつができる」「進んであいさつができ、ていねいな言葉づかいができる」についての肯定回答が、昨年度と比べて 2 ポイント下降した。コロナ禍が続いていたこともあり、挨拶の習慣が十分でない児童生徒もいたと考えられる。児童会や生徒会などが中心となって、主体的な挨拶の習慣を取り戻すことが必要であると感じる。

この 3 年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域の方に学校の様子を見に来てもらったり、ゲストティーチャーとして来校していただいたりといった活動は、あまり実施できなかった。今後は、学校・保護者・地域が連携して子どもたちを見守り、育てていく体制づくりの構築を図り、「地域とともにある学校」づくりを進めていく。

2 社会教育

基本方針 豊かな心を土台とした生涯現役力の育成支援

社会教育		
<p>目標 1 温もりのある家庭・地域づくりの推進</p> <p>すべての教育の出発点でもある家庭教育を支える地域づくりを推進するために、地域行事等への参加促進や「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）の拡充を図ります。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「子ども 110 番の家」の周知啓発及び登録促進 ○ 非行防止補導活動の実施 ○ 二十歳のつどい実行委員による自主的な企画及び運営支援 ○ 「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）の周知啓発 ○ 地域の核となる団体との連携及び継続支援 		
成果指標	実績	評価
家庭教育講演会の「満足」以上の肯定回答が 80%以上	中止	C (B)
「あいさつ・声かけ運動」（あいさつ＋１）登録者数の増	微増	
川越町が管轄となる交番の補導状況で町在住の「深夜はいかい」の件数が 13 件以下	15 件 (3)	
現状と課題		
<p>共働き世代や核家族の増加に伴い、子育てに不安や孤立を感じる家庭が増えている。すべての教育の出発点である家庭教育力の向上のため、地域全体で家庭教育を支えられるような地域活動への支援を行っていく必要があるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの事業を中止した。また、補導された不良行為少年の増加の一因として小中高校生の臨時休校や外出自粛の影響が考えられる。</p> <p>人と人とのつながり、心と心のつながりを大切に、地域コミュニティや青少年の育成を推進するため、平成 23 年より「あいさつ・声かけ運動」を実施。現在まで 1,074 名の方が登録をした。現場におけるあいさつは浸透してきているように思われるが、一つの指標である登録者数は、ここ数年は横ばいである。よって今後、更なる活動や新たな事業展開を行う必要がある。</p> <p>子ども 110 番の家の登録状況は、子どもの一時避難所として約 600 軒の看板設置協力を確保している。留守がちな家につけても意味がないとの意見もあるが、犯罪抑止になるという側面もある。今後、設置趣旨をご理解いただきながら、普及拡大を図っていきたい。</p>		

社 会 教 育		
<p>目標 2 人権を尊重する意識づくりの推進</p> <p>人権についての正しい理解と認識を深めてもらうため、学習会等を通して人権啓発を行い人権尊重の意識づくりを推進していきます。</p>		
主 な 取 組 内 容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権・同和教育推進協議会役員会の開催 ○ 三重県人権・同和教育研究大会への参加 ○ 人権意識の周知啓発 ○ 小学生作成の人権ポスターの展示 		
成 果 指 標	実 績	評 価
人権学習映画会参加者アンケートで満足度を問う設問で「よかった」との回答が 80%以上	93% (95)	A (C)
人権学習映画会参加者数の増	増加	
現 状 と 課 題		
<p>各地区で行う参加型人権学習会から新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み令和 3 年度は、あいあいホールにて「人権学習映画会」を開催した。参加型人権学習会と比べ、親子連れの姿や子ども同士での参加が多くみられた。令和 4 年度は第 1 部講演会、第 2 部映画会として開催し、子どもから大人まで人権について考える時間となった。</p> <p>令和 5 年度も、令和 4 年度と同様に実施していく予定であるが、更に多世代が参加しやすい形態の学習会等の開催を検討していく必要がある。</p>		

社 会 教 育

目標 3 いつでもだれもが学べる生涯学習の推進

学び始めるきっかけづくりや楽しく学べる環境づくりを通して生涯学習を推進するとともに、図書室の充実を図りながら、読書活動の普及啓発を推進していきます。

主 な 取 組 内 容

- 子どもから高齢者までを対象とした各種の生涯学習講座を開設
- 子どもから高齢者までを対象とした家庭読書（家読：うちどく）の促進啓発
- 図書室の魅力向上のための機能充実
- 読み聞かせ・お話し会の開催
- 町内の子どもの読書環境を支える職員向けの研修会等の開催

成果指標	実績	評価
生涯学習講座受講者アンケートで「満足」以上の肯定回答が 80%以上	89% (88)	B (B)
生涯学習講座の定員達成率が 90%以上	88% (86)	
図書貸出冊数の増加	増加 (増加)	

現 状 と 課 題

人生 100 年時代を迎える中で、生涯学び続けることができる学習環境を提供していくことがより一層求められている。生涯学習講座受講者アンケートで「満足」以上の肯定回答が 89%という結果をいただいたが、定員達成率は 90%に届かなかった。町民一人ひとりが自ら進んで、かつ、気軽に取り組みやすい学習講座を企画していくことが必要である。

図書室では、1 日あたりの貸出冊数、利用者数ともに微増している。また例年、図書室行事として、大人向け朗読会、一般利用者向け講座、おはなし会などを開催していたが、令和 4 年度は感染拡大が収まらず集客が見込めないため、朗読会のみ実施した。中止した一般向けの講座の代わりとして、保育所等、子どもの読書に関わる職員を対象とした読み聞かせ講座を 2 回開催した。

生涯、進んで読書に親しむ町民を増やしていく取り組みを今後も続けていく必要がある。そのためには、引き続き各家庭において、読書に対する興味や関心が高まるような習慣づくりを、地域や学校等と連携・協力しながら検討していきたい。

社 会 教 育

目標 4 文化芸術活動の推進及び地域の歴史や伝統文化・文化財の保存、継承等

文化芸術活動の参加者などを拡充させていくため、その成果を発表する場やふれあう機会を提供していきます。

また、生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち続けてもらい、地域文化・郷土資料を後世につなげていくため、その保管・継承に努めていきます。

主 な 取 組 内 容

- あいあいホール自主事業の内容を企画委員会で検討
- 町指定無形民俗文化財映像ソフト及び文化財調査実績の活用
- 町内公共施設等において郷土資料の一部展示

成果指標	実績	評価
あいあいホール自主事業入場者アンケートで「満足」以上の肯定回答が80%以上	83% (85)	A (A)
小学校出張の実施（民俗資料貸出） （郷土学習の際の資料提供＜祭礼 DVD 貸し出し、ケーブル TV “わがまちヒストリー” への話題提供・出演＞）	実施 (実施)	

現 状 と 課 題

町の文化芸術の拠点であるあいあいホールの自主事業は、幅広いジャンル、幅広い年齢層を対象に実施しており、感染症対策を講じたうえで、たくさんの方に文化や芸術に親しむ機会を提供した。また、新たなお客さまを開拓できるような事業を、企画委員会の中でより一層検討していく必要がある。

令和3年度に郷土資料館を解体したことから、所蔵していた資料をいかに活用し、展示していくかの検討が必要である。町広報やケーブル TV による資料紹介や文化財に関する情報発信に努めた。

文化財については町民の関心を高めていくため、直接ふれることができる機会だけではなく、場所にこだわらないデジタル・アーカイブ、デジタル・ミュージアムといった公開方法も含めて検討していく必要がある。

社会教育		
<p>目標 5 生涯スポーツ活動の推進</p> <p>健康や仲間との交流などを目的としたスポーツから競技スポーツまで、幅広くスポーツ人口を拡充させるために、運動機会の提供や競技力の向上を図る場づくりを推進していきます。</p>		
主な取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースポーツをはじめとした各種スポーツ教室等の開催 ○ 地域の核となるスポーツ団体との連携及び継続支援 ○ 総合運動施設等の維持管理と充実 		
成果指標	実績	評価
スポーツ教室参加者アンケートで「満足」以上の肯定回答が 80%以上	93% (82)	A (A)
スポーツ教室の定員達成率が 90%以上	94% (100)	
総合運動施設の利用者数の増	増加 (増加)	
現状と課題		
<p>大人数が参加する町民運動会及び町駅伝大会については、新型コロナウイルス感染症拡大を危惧し、昨年同様に開催を見送ったが、各種スポーツ教室においては、定員を 50%とするなど、感染症対策を徹底し実施した。</p> <p>総合体育館については、トレーニングルームのパワーラック及びワイドプレスベンチを更新したこともあり、令和 3 年度に比べ、1 か月あたりの利用者数が 51 名から 217 名に増加した。</p> <p>互いにスポーツを楽しむことは、他者との協同や思いやりを育み、地域コミュニティの形成にも役立つこととなる。このスポーツの効用を拡充するため、地域におけるスポーツ活動の核となる各団体とも連携しながら、新たなスポーツメニューの提供やスポーツの場及び機会づくりを図り、スポーツ人口を拡大していく必要がある。</p> <p>町民プールは、施設の老朽化が進み、利用者の安全確保が難しいため、営業を中止した。今後存続の可否について検討していく。</p>		

IV 学識経験者の知見の活用

1 説明及び面談の実施

教育委員会の点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について説明及び面談を次表のとおり実施しました。

月 日	場 所	内 容
6月21日	川越高等学校	教育委員会の取組内容、自己評価、現状と課題等について説明
6月22日	川越町役場	同上
7月11日	川越高等学校	面談の実施により意見を聴取
7月11日	川越町役場	同上

2 意見の要旨

上記の面談にて様々な意見をいただきました。その要旨は次のとおりとなりました。

今後の事務改善に活かしていきます。ありがとうございました。

学校教育	<p>【幼稚園】</p> <p>・いずれも成果指標を上回る実績値であり、素晴らしい成果をあげています。特に関連機関との適切な連携や、保護者への情報発信などにより信頼関係が醸成されていると思います。一方で、園長先生や先生方の過重労働等が懸念されますので、働き方改革の取組もお願いします。</p> <p>【学校】</p> <p>・目標1について、目標値を概ね達成していると思います。特に「自分にはよいところがある」の肯定回答が高い実績値であり、先生方の丁寧な声掛けが自尊心を高め、自己肯定感につながっていると思います。</p> <p>・読書活動と運動習慣については、社会教育と適切な連携が図られていて、町全体として大きな成果につながっていると思います。</p> <p>・目標2については、「授業はていねいでわかりやすい」の肯定回答の実績値が非常に上がっていますが、「困りごとや不安がある時に・・・相談できますか」の設問では、実績値は大きく下がっています。児童生徒から高い信頼を得ている</p>
------	--

	<p>にもかかわらず、相談しにくいのは、子どもたちが先生方の忙しさを肌で感じて遠慮をしているところもあるのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標 3 については、丁寧な情報発信により保護者からの信頼につながっていると思いますが、先生方の過重な負担になっていないかが心配です。 ・授業改善や事務業務の負担軽減に向けては、更なる I C T 活用や生成 A I などの活用が求められ、今後も ICT 支援員の常勤配置や行政機関と連携した IT 専門員の配置なども検討が必要ではないのでしょうか。
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にコミュニケーションの場を作っていかれてはいかがでしょう。 ・目標 1 について、「深夜はいかい」の項目がありますが、高校生も含まれることや延べ数のため特定の人数が複数カウントされることも想定されますので、指標としては見直しも必要ではないのでしょうか。 ・目標 3 について、子どもから大人までを対象とした家庭読書促進の取組はたいへん素晴らしく、学校教育での取組とも連携されており、今後の成果として、子どもの学力向上や生涯学習の推進につながると思います。 ・目標 5 について、生涯スポーツ活動が着実に推進していることで、子どもたちの「運動やスポーツをすることが好き」の肯定回答（85%）につながっていると思います。特にトレーニング機器の更新により利用者の増加につなげるなどたいへん効果的な取組が行われたと思います。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動や運動習慣などについて、学校教育と社会教育がそれぞれ連携して取組を推進していることで、全世代にわたって大きな成果をあげていると思います。引き続き、町全体として、学校と家庭、地域が連携した取組を進めていただきたいと思います。 ・学校教育、社会教育のいずれにおいても素晴らしい成果を出していただいています。教員や行政職員等の過重負担について懸念があります。外部人材の有効活用や民間企業等を含めた関係機関との連携を推進することで、業務負担の軽減につなげていただきたいと思います。